

I. 総括

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢

薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甑島、中甑島、下甑島で構成される甑島区域で構成されています。

東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、藺牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甑島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有しています。

本市が有するこれらの多彩で美しい自然環境は、平成27年3月16日に指定された甑島国定公園をはじめ、川内川流域県立自然公園、藺牟田池県立自然公園など、広く市民に親しまれています。

この広域に及ぶ当局管内面積は県内では最大の682.92km²です。

消防本部の位置 東経 130° 18'
北緯 31° 49'



年 月	概 要
平成 16 年	10月12日 薩摩川内市が誕生し、薩摩川内市消防局発足 10月12日 伊豫田輝雄初代消防局長就任 10月12日 東部消防署祁答院分署運用開始 11月17日 救急救命士17人となる
平成 17 年	4月 1 日 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から携帯用無線機15式、空気呼吸器1式、空気呼吸器用ボンベ10本の貸与を受ける 5月 9 日 救急救命士18人となる 6月 9 日 緊急消防援助隊全国合同訓練参加(静岡県静岡市清水区)～12日 10月 1 日 西部消防署高規格救急車等による高度救急業務を開始 11月 4 日 東部消防署祁答院分署新庁舎落成式挙行 11月 21 日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(沖縄県うるま市)～24日 11月 24 日 救急救命士19人となる
平成18年	1月 15 日 伊豫田輝雄消防局長退任 1月 16 日 桑原道男第2代消防局長就任 2月 21 日 アステラス製薬株式会社から救急自動車(2B)の寄贈を受ける 4月 1 日 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器用面体40基の貸与を受ける 5月 22 日 救急救命士21人となる 6月 1 日 「住宅用火災報知機」の設置が義務づけられる 7月 22 日 鹿児島県北部豪雨災害(消防職員・消防団員 延1,252名出場)～23日 10月 20 日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(北九州市)～21日 12月 7 日 総務省消防庁主催「第9回全国消防広報コンクール」広報紙部門優秀賞受賞
平成19年	1月 23 日 鹿児島県防災航空隊と合同練習 4月 1 日 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体40個、液晶プロジェクター1台、防護マスクフィルター532個の貸与を受ける 5月 14 日 救急救命士24人となる 5月 16 日 鹿児島県防災航空隊と合同練習 10月 12 日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(大分県中津市)～13日
平成20年	1月 14 日 桑原道男消防局長退任 1月 15 日 上村健一第3代消防局長就任 4月 1 日 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体10個、エアー担架32基、放射性廃棄物用ドラム缶1個、サーベイメーター用アルミ収納ケース4個、防護マスクフィルター794個、ポケット線量計3個の貸与を受ける 4月 28 日 救急救命士26人となる 9月 12 日 鹿児島県防災航空隊と合同訓練 11月 21 日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県佐世保市)～22日
平成21年	4月 1 日 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、エアー担架5基、防護マスク195個、防護マスクフィルター1000個、防護服(アノラック型、タイベック型)50着、液晶プロジェクター1台、DVDプレーヤー5台、液晶プロジェクターケース1個、ポケット線量計20個、携帯無線機用スピーカーマイク15個の貸与を受ける 4月 14 日 救急救命士28人となる 8月 26 日 鹿児島県防災航空隊と合同訓練 10月 9 日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(佐賀県佐賀市)～10日 11月 16 日 東部消防署 高規格救急車を更新

年 月	概 要
平成22年	
2月15日	中央消防署下甑分駐所新庁舎運用開始
3月31日	中央消防署南部分署 大型高所放水車を更新
4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、デジタルカメラ1台、防護マスクフィルター100個の貸与を受ける
5月1日	救急救命士29人となる
6月4日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(愛知県知多市)～5日
8月30日	西部消防署 大型化学消防車を更新
10月8日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施(薩摩川内市)～9日
11月10日	支援車I型を総務省消防庁から緊急消防援助隊登録車両として無償貸与を受ける
11月29日	東部消防署 水槽付消防ポンプ車を更新
平成23年	
2月24日	西部消防署 泡原液搬送車を更新
3月14日～23日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として総務省消防庁から派遣要請を受け、延べ20名出場(派遣先:宮城県石巻市)
4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器用ボンベ10本、容器呼吸器面体30個、デジタルビデオカメラ1台、ノートパソコン1台、化学防護服2式、防護マスクフィルター600個、防護服(アノラック型)200着、防護服(タイプック型)200着、チオックス手袋40ダース・綿手40ダース、防護靴80足、オーバーシューズ200足の貸与を受ける
4月1日	簡易携帯・IP電話位置情報システムの運用開始
4月1日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」個人線量計15個、線量率計(γ線・X線)4台、線量率計(中性子用)1台
5月1日	救急救命士30人となる
10月1日	祁答院分署救急車に高度救命処置用資機材を搭載、救急救命士4名を配置し、運用開始
11月4日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(宮崎県宮崎市)～5日
12月16日	鹿児島県ドクターヘリ運用開始
平成24年	
1月30日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器用ボンベ5本、空気呼吸器面体2個、化学防護服2式の貸与を受ける
3月2日	下甑分駐所 救急車を更新
3月9日	西部消防署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
3月13日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から防護マスクフィルター1430個、GM防護マスク85個の貸与を受ける
4月1日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」救助用は破壊器具(バッテリー式)1式
5月1日	救急救命士32人となる
6月27日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊支援資機材」エアーテント1式
10月1日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」個人線量計6個、線量率系(γ線・X線)2台、表面汚染調査計1台
11月17日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県八代市)～18日
11月28日	燃料補給車配備(総務省消防庁無償貸与・緊急消防援助隊登録車両)
平成25年	
2月18日	中央消防署 はしご付消防ポンプ自動車を更新(先端屈折型30m級、四輪操舵式導入)
3月22日	総務省消防庁から重機搬送車(クレーン付き)・建設機械(5トン重機 アタッチメント付)を無償貸与を受ける
3月25日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、防護服(タイプック型)510着、防護靴40足オーバーシューズ725足、チオックス手袋34ダース、綿手41ダース

年 月	概 要
平成26年	ス、作業帽142袋、エプロテープ10ダース、ポケット線量系(PDM-222V型)250個、サーバイメータ(シンチレーション式 TCS-172B)2台の貸与を受ける 京都府福知山市で開催の花火大会における事故に伴い、露店防火指導査察をはじめる。 消防団120年、自治体消防65年記念大会へ参加 中央消防署 高規格救急車を更新 上甑分駐所 救急車を更新 上村健一消防局長退任 新盛和久第4代消防局長就任 消防本部・中央消防署新庁舎運用開始 高機能消防指令センター運用開始 新旧消防庁舎にて閉庁式及び開庁式を開催 薩摩川内市消防局消防本部・中央消防署落成式を開催 防災研修センター本格運用開始 消防総務課 連絡車を更新 予防課 予防指導車を更新
	11月25日
	2月20日
	3月12日
	3月31日
	4月1日
	7月18日
	7月22日
	7月26日
	8月1日
	11月6日
	11月22日
	平成27年 3月17日
平成27年	南部分署 水槽付消防ポンプ自動車を更新 救急救命士36人となる 口永良部島新岳の爆発的噴火が発生し、鹿児島県消防救助技術指導会が競技途中で中止となる 消防救急デジタル無線仮運用開始 コーラガスグループから消防指令車の寄贈を受ける 防災研修センターの利用者1万人達成 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡県久留米市)～23日 11月7日
	5月7日
	5月29日
	7月4日
	8月18日
	9月16日
	11月7日
	11月11日
	12月10日
	平成28年 1月19日
	3月23日
	3月24日
	4月1日
4月15日～28日	消防救急デジタル無線の本格運用並びに運用開始式を開催 予防課 火災原因調査車を更新 警防課 本部指揮隊車を更新
	消防局150名体制となり、上甑分駐所並びに下甑分駐所に職員をそれぞれ1名増員し、各分駐所6名体制となる 4月14日21時26分に発生した震度7の地震を前震とする「平成28年熊本地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として延べ31名出場する
	救急救命士37人となる 株式会社大和から小型バスの寄贈を受ける
4月27日	
6月1日	